



香川の 土地改良

発行所
香川県土地改良事業団体連合会
高松市番町五丁目1番29号
TEL (087) 832-7140
FAX (087) 832-7150
<http://www.midorinet-kagawa.or.jp>



田んぼダム取組み実施田（綾歌郡綾川町羽床上）

目次

- 1. 令和5年度農林水産予算概算要求 2~3
- 2. 全国水土里ネット会長会議顧問宮崎雅夫参議院議員香川県内視察 4
- 3. 令和4年度香川県ふるさと・水と土保全対策推進委員会開催 5
- 4. 栗林公園と農業用水 6~7
- 5. 令和4年度香川県水土里情報利活用促進協議会幹事会開催／会と催し 8

令和5年度農林水産予算概算要求

8月31日、農林水産省の令和5年度予算の概算要求が発表され、予算総額は、対前年度比117.7%の2兆6,808億円、このうち、公共事業費は8,213億円（対前年度比117.6%）、非公共事業費は1兆8,595億円（対前年度比117.7%）となっている。

また、農林水産省予算のうち、農村振興局関係予算における公共事業費の農業農村整備は、対前年度比118.4%の3,933億円となっており、これに農地耕作条件改善事業等（非公共）と農山漁村地域整備交付金（農業農村整備分）を合わせた農業農村整備事業関係予算は、対前年度比118.4%の5,273億円と大幅な増額要求となっている。

総括表

区 分	令和4年度 予 算 額	令和5年度 要 求 ・ 要 望 額	対前年度比
	億円	億円	%
農林水産予算総額	22,777	26,808	117.7
1. 公共事業費	6,981	8,213	117.6
一般公共事業費	6,782	8,013	118.2
災害復旧等事業費	200	200	100.0
2. 非公共事業費	15,796	18,595	117.7

- (注) 1 金額は、関係ベース。
 2 計数整理の結果、異動を生じることがある。
 3 計数は四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。

農業農村整備事業関係予算の概要

	令和4年度 当初予算額	令和5年度 概算要求額	対前年度比
	億円	億円	%
農業農村整備事業（公共）	3,322	3,933	118.4
農業農村整備関連事業（非公共）	540	651	120.5
農地耕作条件改善事業 農業水路等長寿命化・防災減災事業 農山漁村振興交付金			
農山漁村地域整備交付金（公共） （農業農村整備分）	591	689	116.5
計	4,453	5,273	118.4

- (注) 1 計数は四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。

概算要求の重点事項（土地改良事業関係抜粋）

1. 競争力強化・国土強靱化のための農業農村整備の計画的な推進

- ①農業農村整備事業＜公共＞ 3,933億円
- ・農地の大区画化・汎用化、農業水利施設の適切な更新・長寿命化、省エネ化・再エネ利用、ため池の防災・減災対策、農業用ダムの洪水調整機能強化や田んぼダムの取組拡大、農道、集落排水施設の整備等を推進
 - ・農村地域のインフラの持続性の確保と農村の活性化を図るため、集落排水施設や農道の再編、強靱化、高度化等の定住条件の整備を支援
- ②農地耕作条件改善事業 294億円
- ・農地中間管理機構による農地の集積・集約化、麦・大豆や高収益作物への転換を推進するため、機構による担い手への農地の集積・集約化が行われる地域等において、農地の区画拡大や排水改良等を支援
- ③農業水路等長寿命化・防災減災事業 312億円
- ・農業生産活動の基盤となる農業水利施設の機能を安定的に発揮させるため、機動的・効率的な長寿命化・防災減災対策を支援
- ④農山漁村地域整備交付金＜公共＞ （農業農村整備分）689億円
- ・地方の裁量によって実施する農林水産業の基盤整備や農山漁村の防災・減災対策に必要な交付金を交付

2. デジタル技術により地域資源を活用した農山漁村の課題解決

- ①農山漁村振興交付金 （農業農村整備分）45億円
- ・農山漁村における定住や都市と農山漁村の交流を促進するとともに、農山漁村に関わる関係人口の創出・拡大を図るため、地域資源を活用した計画策定や各種取組の実践、デジタル技術を活用した課題解決を支援

3. 日本型直接支払の実施

- ①多面的機能支払交付金 493億円
- ・農業・農村の多面的機能の維持・発揮や地域全体で担い手を支えることを目的として、農業者等で構成される活動組織が行う農地を農地として維持するための地域活動や、地域資源の質的向上を図る活動を支援
- ②中山間地域等直接支払交付金 265億円
- ・中山間地域等における農業生産条件の不利を補正するため、棚田地域を含む中山間地域等での農業生産活動を継続して行う農業者等を支援

全国水土里ネット会長会議顧問宮崎雅夫参議院議員香川県内視察

8月22日、都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問 宮崎雅夫参議院議員が高松市内において、土地改良関係者に対し農業農村整備に係る国政報告を行うとともに意見交換と3箇所のため池等の現地視察を行った。

顧問の宮崎雅夫参議院議員は残暑の厳しい中、午前中の限られた時間の中で、地元の様々な意見や要望などに耳を傾け、精力的に意見交換を行った。



懇談の様子



ため池の現地視察

令和4年度香川県ふるさと・水と土保全対策推進委員会開催



8月24日(水)三木町の南端にある『^{こみの}小蓑地区』において、令和4年度香川県ふるさと・水と土保全対策推進委員会が開催され、学識経験者等6名、香川県農村整備課職員4名が出席した。本委員会は「農村の活性化」、「中山間地域の多面的機能の発揮」などのテーマについて有識者で検討するため設置されており、午前中は『小蓑地区』の現地視察を行い、活動内容の説明を受け、午後からは現地視察の結果を踏まえて同テーマについて検討を行った。

今回の視察先となった『小蓑地区』は、高齢化・過疎化が進む中、この地域をみんなの力で何とかしようと、集落営農を開始。その後、^{さんなん}山南営農組合を平成16年4月に50戸の農家・非農家で設立し、令和3年7月には、株式会社山南営農組合に発展させた。組合では、ライスセンター部会、産地直売部会、農村レストラン部会、山南猪肉市場部会など11の部会をつくり、地区の住民全員が何れかの部会員になっており、各住民が得意分野で活躍できる場があり、それが生きがいとなっている。



現地視察では『株式会社山南営農組合』代表取締役 阿部氏より、まず小蓑地区での活動内容について説明をいただいた。その後、農産物加工場、ライスセンター、営農状況、農家民宿、農村レストランを視察した。地区内で獲れたものをブランド化して出荷すること、ドローンを用いて農作業の負担を軽減すること、農泊やグリーン・ツーリズムにより地域外との交流に努めていること、農産物加工場では大学生などの若者がカフェを運営し、賑わいを創出していることなどの積極的な取組みに対して、委員の皆様も感心された。

午後からの委員会では香川県農村整備課の松平和也課長が開会の挨拶を行い、本県農業農村の振興に協力いただいていることへのお礼とともに、近年棚田が注目され、昨年度、国において優良な棚田を「つなぐ棚田遺産」として認定したこと、本県においては「さぬきの棚田アワード」を認定し、情報発信していることや本県におけるふるさと・水と土保全対策事業の取組みについて述べられた。

議事では、香川大学創造工学部の角道弘文教授を議長とし、下記の議題について議論され、多くの有意義な意見が出された。香川県農村整備課では「農村の活性化」という大きなテーマに対して、『小蓑地区』の現地視察や本委員会での意見を踏まえ施策を展開していくとのことであった。

議 題

- (1) 令和3年度事業報告について
- (2) 令和4年度事業計画について
- (3) 昨年度の指摘事項等に対する対応について



栗林公園と農業用水

「四国作家」同人 平井 忠志

元手要らずの湧水

江戸時代、栗林村には村内に何か所も豊富な湧水があった。南湖のほとりに「吹上」という所があり、戦前まではここから地下水が吹き上げていた。高松藩主はここにお茶室を建てており、おそらくこの清水を汲んで、お茶の水に使用していたものと思われる。

この豊かな湧水に高松藩主が目をつけ、栗林村に多くの泉水や築山を配して山荘を造ったのが、天下の名園栗林公園の始まりだと言われる。「元禄十三年(1700)栗林荘之図」にはすでに六つの泉水があり、小川によって巧みに結ばれている。

また園内の豊富な湧水は下流の中野村、宮脇村などの農業用水に使われていた。百姓たちに行ってみれば、元手いらずの有り難い水源であった。県下の多くの水田は、ほとんどが溜池に頼っていたが、これには莫大な維持費がかかる。

例えば池から取水するユルは木材で出来ているため、何年も使っていると腐敗する。その度に堤防を大きく掘り割って、新設しなければならない。池が大きければ大きいほど、莫大な費用がかかる。

また、堤防が古くなると大雨で崩れることがあり、その復旧費も馬鹿にならない。それに比べれば栗林公園からの湧水は有り難かった。何年使っても維持管理費はゼロである。

泉水ざらえの要請

ところが大雨の度に園内の築山が崩れ、池に流れ込むので年々池が浅くなり、湧水量が減ってくる。当然ながら百姓たちは、栗林公園を管理している高松藩に、泉水ざらいを要請する。普通であれば、百姓が藩に要請など出来ないが、この場合だけは大きな顔をして文句を言えたのである。

嘉永二年(1849)、高松藩は百姓たちからの厳しい要求を受け、泉水ざらいを藩普請として施工することになった。『讃岐一の宮郷土史』によれば、藩は普請に先立ち土地の大庄屋に工事の見積もりをさせている。

それによると工期は一か月で、延べ人夫は4,867人という膨大な数字になった。藩の責任で賃金を出して、これほどの百姓を雇い上げるのだから、百姓たちに行ってみれば、農閑期の思いがけない収入になる。当時の人夫賃は一日一匁五分で、上等酒一升(1.8リットル)に相当したという。

ところがこの年、藩の財政は窮乏しており、藩士の禄は「お借上げ」と称して、半額支給するのがやっとであった。そこでこの仕事を請け負った多肥村(高松市多肥町)の庄屋は、そんな藩の窮状を見かね、村々の庄屋を説得して二千人分の賃金を無償にさせたという。これまさに、封建時代の美談といえよう。

製紙が農業用水を汚す

後に藩ではこの豊かな湧水を利用して、紙漉き(製紙業)を奨励したという。ところが皮肉なもので、製紙は明治、大正、昭和と次第に栄え、やがて製紙工場が栗林公園を取り巻いた。

紙の生産量が増えるにつれて使用水量も増大し、はては深井戸を掘って深層地下水までポンプでくみ上げはじめた。

こうなると湧水など、もろいものである。さしもの名園の湧水も次第に枯れ始め、代替え水源として掘った深井戸までが干上がる始末。そのうえ製紙の汚水が下流に流れ、農業用水に使えなくなってしまった。

そのうち昭和後期に入ると、市街地がどんどん拡張される。道路や水路がコンクリートで舗装され、

下水道が完備して地下水の供給源が断ち切られてしまった。

あの豊かで清冽な湧水は、飽くことを知らぬ文明と言う怪物が、真綿で首をしめるように、じわじわと封じ込めてしまったのであった。

桶樋の滝

これは余談であるが、紫雲山の麓の栗林公園の南西部に「桶樋（おけどい）の滝」というのがある。優に二十メートルを超える岩肌を伝い、白銀の飛沫を上げながら落下している。「桶樋（おけどい）の滝というんですよ。ポンプで汲み上げている人工の滝です」と、そばの茶店の娘さんが教えてくれた。

なんでも昔、殿様がここで滝を見ながら憩う時、農民に西湖の水を桶に汲ませて、山の中腹の滝口まで運ばせて流させたという。それにしても農民を一行に並ばせて、戦時中のバケツリレーのように運び上げるとなると、数十人がかりになるであろう。

天下の名園水戸の偕楽園は、殿様が「衆と共に楽しむ」べく名付けられたという。岡山が誇る後樂園は、「衆に後れて楽しむ」べく殿様が命名したという。

それを何ぞや、わが高松の殿様は、大勢の百姓たちが汗水たらして山上に汲み上げた水を、滝に流してひとり涼をとっていたかと思うと、少々情けない話である。

滝がお気に召した殿様が、あずまやで酒杯を傾けながら、半刻（1時間）も休まれては、水運びの農民たちも、たまったものではあるまい。

だが考えてみると、いくら封建時代でも、ゆえなく農民をただ働きさせたとも思えない。「高松藩記」によると栗林公園は、雇用の促進を兼ねて造らせたとある。とくに飢饉（ききん）の年には老若男女を問わず、賃金がわりに日々相当の米を支給したという。「おびただしき御出費に御座候えども、このため餓死の者ひとりも之なく候よし・・・（高松藩記）」と記されている。

これから推測すると、滝の水汲みにも相当の報奨金が与えられたのではあるまいか。案外、栗林村の農民たちは、殿様が公園にお成りになるのを、心待ちにしていたかも知れない。

それはともかく、今とうとうと終日流れ落ちる滝は、県が江戸時代の絵図を参考に、最近になって復活させたものだという。万有引力の法則をねじ曲げてつくった滝だと思うと、いささか味気ない気がする。

桶樋（おけどい）の滝は、昔を想像して眺める桶樋のままがいい。



茶室「旧日暮亭」から見た桶樋の滝

執筆者紹介

平井 忠志 （ひらい ただし）

「四国作家」同人
 愛媛県立農林専門学校農業土木科
 （現愛媛大学農学部）卒業
 昭和23年 香川県農地部勤務
 開発水利課長・土地改良課長歴任
 昭和61年 香川用水土地改良区勤務
 平成7年 小説「花だんす」で香川菊池寛賞受賞
 平成13年 「さぬき水物語」出版
 平成20年 「さぬき水の歴史考」出版

令和4年度香川県水土里情報利活用促進協議会幹事会開催

9月1日、香川県社会福祉総合センターにおいて、県、市町、土地改良区、県農業会議、県農業協同組合、県農業共済組合の担当課長など幹事22名出席のもと、令和4年度香川県水土里情報利活用促進協議会幹事会が開催された。

会議では、「資産評価データ整備事業」で整備した土地改良施設を、県土連のホームページから閲覧するための「WebMap」の整備について協議を行った。また、土地改良区の参加、協議会員への公開の意思確認を行いつつ、ホームページの作成を進めていくことを確認した。



- 協議事項1 WebMapの紹介について
- 協議事項2 土地改良区へのWebMap参加の意思確認について
- 協議事項3 協議会会員のWebMap閲覧に関する土地改良区への意思確認について

会と催し

開催月日	会の名称	開催場所
8月22日	全国水土里ネット会長会議顧問 宮崎雅夫参議院議員国政報告及び意見交換会	高松市
8月24日	香川県ふるさと・水と土保全対策推進委員会	三木町
9月1日	令和4年度香川県水土里情報利活用促進協議会幹事会	高松市
9月6日	香川県ため池保全管理協議会	高松市
9月6日	第94回香川用水記念会館管理委員会幹事会	高松市
9月8日	令和4年度農業農村整備サマーセミナー「今、食料安全保障について考える」(WEB)	高松市
9月8日	令和4年度男女共同参画推進プロジェクト研修会	高松市

お知らせ

令和4年度統合整備推進研修(会計研修)を下記により開催します。

記

1. 日時 令和4年10月7日(金) 9時30分～受付
2. 場所 高松市番町2丁目2番2号 高松商工会議所大ホール